



# 長尾よかだより

発行日／2019年3月 発行元／医療法人 順和 理事長／服部 文忠

目次

表紙 検査シリーズ7 残尿測定とコンチネンス委員会  
P2 城南区のブロック支援病院の活動について  
協会けんぽ「生活習慣病予防健診」のご案内

P3 私の素敵な経験  
P4 開設20周年を迎える高みを目指して  
P5 福岡外環状道路



## 検査シリーズ7 残尿測定とコンチネンス委員会

理事長 服部 文忠

当院には泌尿器科医は勤務していますが、排尿直後に膀胱内にどのくらいの尿が残っているかを調べる残尿測定を行って、診断や治療、経尿道カテーテルはずし、オムツはずし等に役立てています。

ベラゾン・メディカル社の「ブラッダースキヤン」という携帯型の超音波装置を使い、看護師の手で簡単に5分以内に残尿を測ることができます（図）。

外来では頻尿（トイレの回数が多い）の原因となる病気の検査、前立腺肥大症の薬が効いているかなどで検査しています。

頻尿を改善する薬はいろいろありますが、残尿があるかないかによって薬を使い分ける必要があります。

急性期の病院から経尿道カテーテルが入った



▲ブラッダースキヤン  
(ベラゾン・メディカル社)

今まで転院されてくる患者さんのカテーテルはずしにも役立ちます。

まず、カテーテルを抜いてみて、排尿日誌（いつどれだけ尿を出したかと残尿を記入する）を付けると、カテーテルを抜いたままでいいのか、やはり抜くのは早いのかがわかります。

また、当院は福岡高齢者排泄改善委員会というNPOからオムツはずしのモデル病院として選ばれ、泌尿器科医と排尿日誌などをファックスでやり取りして、オムツはずしを行っていますが、選ばれた理由がブラッダースキヤンを使っていました。

当院には患者さんが排尿、排便をスムーズに行うことを目的とするコンチネンス委員会がもともと活動しており、チーム医療で経尿道カテーテルはずしを行える排尿自立指導を行っています。

以上の活動に必要なブラッダースキヤンですが、最近買い増しましたので、お待たせすることなく残尿が測れると思います。

外来にてご相談ください。

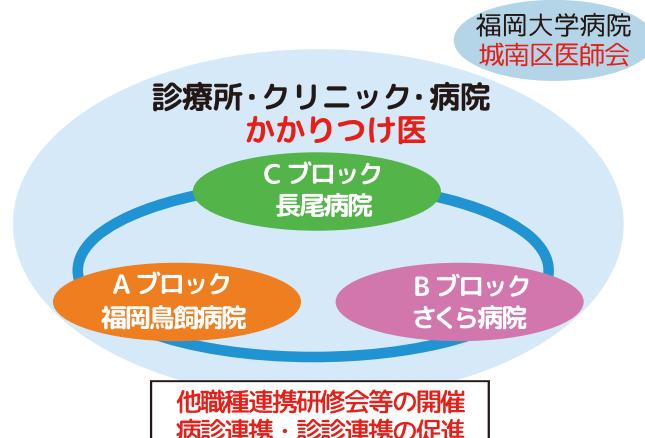
## 城南区のブロック支援病院の活動について

在宅診療部 社会福祉士 勝田 雄介

福岡市では福岡市医師会・各区医師会・行政による在宅医療連携推進のため、2016年度にブロック支援病院の選定と取組方針を策定し、2017年度よりブロック支援病院を中心とした医療連携体制づくり等を行っています。

福岡市は7つの行政区画内を複数のブロックに分けその拠点となる病院を通じて在宅医の支援や情報交換の場を提供する「ブロック支援病院」体制の構築など、地域の在宅医の負担軽減を図るための体制等を構築しています。

城南区は、小学校区を基に3つのブロックに細分し、Aブロック：福岡鳥飼病院・Bブロック：さくら病院・Cブロック：長尾病院を選定しています。



▲ 城南区のイメージ図

ブロック支援病院は在宅医療における病診連携<sup>\*1</sup>（急変時のバックアップ等）・診診連携<sup>\*2</sup>（代診等）を促す役割を担っています。

活動のひとつとして城南区医師会と福岡大学病院の支援の下、各病院、診療所（かかりつけ医）、介護保

険事業所との「より良い連携」構築をめざし、多職種連携研修会などを開催し、在宅生活困難事例の介入経験の共有や疾病、障がいの理解を深め、地域住民が安全に安心した生活が送れるような地域連携体制づくりに努めています。

長尾病院は城南区Cブロック「堤・堤丘・西長住（城南区）・長尾」エリアを担当させていただきました。

当院は「一人ひとりのライフステージに応じた最良の医療・福祉を提供する」を基本理念としております。理念通り地域においても貢献できるよう精進してまいります。

ブロック支援病院として中心的な役割を担うにあたり、地域医療機関・介護保険事業所、そして地域住民の皆様の多大なるご支援とご理解が必要になりますので、今後ともよろしくお願ひ致します。

当院は「一人ひとりのライフステージに応じた最良の医療・福祉を提供する」を基本理念の基、これからも地域の医療・福祉に貢献できるよう努めてまいります。

最後になりますが、在宅生活における医療や介護についてのご相談がありましたらお問合せください。



▲ 城南区のブロック在宅医療“多職種連携”研修会

## 協会けんぽ「生活習慣病予防健診」のご案内

医事課 主任 小西 拓実

会社勤めの方など、一定時間以上雇用されている労働者には「労働安全衛生法」に基づく定期健康診断の実施が義務付けられていますが、

その内容は限定的です。一方で、労働者が加入する健康保険においても被保険者本人を対象とした健康診断が行われており、労

労働安全衛生法の規定より充実した内容となっています。その費用の一部は健康保険により補助され、少ない自己負担で受けることができます。

当院では、全国健康保険協会の健康診断（協会けんぽ・生活習慣病予防健診）の実施医療機関として指定を受け、2019年1月より下記のとおり受付を開始しました。

対象者：全国健康保険協会（協会けんぽ）の被保険者本人で35～74歳の方

実施日：水曜日、木曜日

負担金：7,038円（健診費用18,522円から11,484円を全国健康保険協会が補助）

申込方法：1ヶ月以上先の水曜日・木曜日でご予約を承ります。

※ 全国保険協会への申込手続も別途必要です。

詳しくは、お勤めの事業所の担当者様にお尋ねください。

胃癌・大腸癌の発見に有効な胃カメラ検査・胃透視検査・便潜血検査など、労働安全衛生法の定期健康診断には規定のない検査が含まれています。胃カメラ検査が不安な方には、ご希望により鎮静剤を使用し眠った状態での検査や、胃への通過が比較的楽な鼻から挿入する検査も可能です。

健康の保持・増進のため是非ご検討ください。



生活習慣病予防健診のお問合せ

☎ 電話：092-541-2035

## 私の素敵なお経験

3階東病棟 師長 崎山 恵美

私は、生まれも育ちも南国鹿児島なのですが、縁あって、津軽三味線を習っていました。皆さんも御存知とは思いますが、東北の津軽地方が発祥の和楽器で、棹<sup>さお</sup>が太く、撥<sup>ばち</sup>を叩きつけるように弾く打楽器的奏法とテンポが速く音数が多い楽器という特徴があります。

そんな東北地方発祥のものをなぜ習っていたのかと良く聞かれますが、私自身も、津軽三味線を習い始めたのが、5歳のころからということもあり、あまり覚えがありません。でも、自分でもびっくりなのですが、私は、三味線の音色を聞くと不思議と懐かし気分になり、心が落ち着くのです。

私は、100人・1,000人・2,000人弾きといった合奏をメインとしている加藤流三絃道藤秋会の流派を習っており、名古屋の御園座等での講演にも参加して、貴重な経験をさせていただきました。

全国から集まった何百人・何千人という生徒が、1つ1つの音を合わせるというのは、本当に大変なことではありました。しかし、バシッと揃った

演奏を聞いた後の観客の方々からの拍手はすごく大きなもので、演奏した私たちも感動させてくれます。1,000人・2,000人弾きは、本当に圧巻です。

基本とする唄（民謡）は、同じですが、流派によってアレンジを変えているため、全く違うイメージの唄になっているものが多くあります。

どの流派が良いのかとかは、皆さん好みもありますし、どの流派にも、流派独自の売りがありますので、ぜひ、津軽三味線を生で聞いていただけたらうれしいです。



## 開設20周年を迎えるさらなる高みを目指して

老健センターながお 施設長 濱田 建男

当施設は、昨年12月1日をもちまして開設20周年という一つの節目を迎えることが出来ました。これも、ひとえに皆さま方のご支援・ご厚情のおかげと、職員一同あらためて感謝申し上げます。

思い起こしますと、当施設が開設した1998年は冬季長野五輪・パラ五輪が開催された年で、プロ野球横浜ベイスターズが38年ぶりのリーグ優勝と日本一に輝き、「ハマの大魔人」(佐々木主浩投手)が流行語大賞になりました。

一方、映画界では洋画「タイタニック」が大ヒットして我が国での興行収入が160億円と、2位の邦画「踊る大捜査線」に110億円もの大差をつけて『タイタニックブーム』を引き起こしました。因みに、郵便番号が現在の7桁になったのもこの年でした。

さて、当施設は母体の長尾病院が現在の建物（ビル）に新築落成した1998年に、長尾病院に合築・併設の老健施設として誕生しました（2階／デイケア・5階／40床・6階／30床）。長尾病院は、服部一郎初代理事長が診療の柱に「リハビリテーション」を掲げて、わが国の「リハビリ医療」のパイオニアとして1965年に現在の地に創設し、53年の歴史を刻んでまいりました。



▲老健センターながお 20周年記念祝賀会

ところで、「老人保健施設」（老健施設）は当施設が開設する10年前（1989年）に、病院と自宅のいわゆる中間施設（在宅復帰を支援する施設）として誕生しましたが、診療機能とリハビリ機能が充実した病院併設しかも「合築」というのは、ご利用者にとりましても、そこで働く職員とりわけ医師・看護師という医療職にとりましても、血液検査やエコー検査、内視鏡検査、レントゲン検査・CT/MRI等の医療サポートが即得られるという点で、老健施設の理想の姿でもあると思います。因みに、私が当施設に入職したのが2007年7月ですから、早いもので12年目を迎えています。

昨年4月の介護報酬改定では、老健施設の施設サービス類型がそれまでの3タイプから5タイプへと見直しが行われました。

当施設は、リハビリの充実と多職種協働（連携）等により、“在宅支援”の項目で複数要件をクリアしていますので、4月の改定から現在まで類型で最上位である「超強化型」老健を算定しています。

ご承知の通り、わが国は世界のトップランナーとして超高齢社会を突っ走っており、高齢者の医療・介護の問題は高齢化先進諸国の耳目を集めていますが、一方で日本の『超高齢社会』の真価が問われているとも言えそうです。

当施設は、これからも「在宅復帰支援（入所）・在宅療養支援（デイケア・ショートステイ）」という、老健施設に課せられた使命を果たしながら、「次の20年」を目指して弛まず努めてまいりますので、今後ともご指導・ご支援いただきますようお願い申し上げます。

## 福岡外環状道路

専務理事 服部 直和

通称「外環」は正式には一般国道202号福岡外環状道路と言います。

博多区立花寺から西区拾六町まで延長16.2kmの4車線道路です。上部に都市高速（福岡高速5号線）が走っています。

この道路の特徴は、ある場所から他の場所まで新しく貫く道路ではなく、福岡地域の南部から西部地域への移動（また逆も）に、都心部を通らざるを得ないことがもたらす交通混雑をショートカットし解消する意味合いの道路ということです。また、整備に膨大なコストもかかりています。

福岡市西南部は高度成長期を通じ住宅地として発展しました。1969年（昭和44年）に都市計画されたものが1987年（昭和62年）から動き始めました。高度成長期に単価の跳ね上がった土地を買収せねばなりませんでした。

2011年（平成23年）4月に4車線供用されるまで、事業開始の1988年（昭和63年）から実に23年かかっています。

以下はこの道路に関わる私的な記憶、道路活用の取り組みについてです。

私は1978年に医療法人順和長尾病院に就職しましたが、当時の理事長服部一郎（実父）が「幻の道路」外環道について雄弁に語った時も、死んだも同然の都市計画なのにと気にも留めませんでした。

その後の計画の復活と長い時間をかけ当病院の前に徐々に空地から道路として姿を現し、開通した時の感激を一生忘れることができません。この道路は当法人（病院・老健など）の存在を以前より格段にアピールしてくれます。

また完成前にこの道路にバス運行の計画

がないと知った時は驚きました。「生活道路」ではなく地域外の人のための「通過道路」でないかと憤りました。

それで2007年（平成19年）11月に市の都市計画部長に外環道のバス運行の要望書を出しました。西日本鉄道（株）の理解と同意が必要でしたが。

この道路沿線には病院が多くあり、これから病院間地域連携に役立つこと、都心に向かう放射線状のバス路線をまたぐ同心円状の外環状道路のバス路線は西南部市民の交通至便性が向上すること、この考えを沿線の病院の皆様に話し、委員会を作り福岡市にアピールしました。

結果「福岡外環状道路の利用増進に向けた交通体系の方策検討会」が立ち上がりいました。

福岡市・西鉄・沿線病院委員会で協議を重ね、地域の住民の方々の協力を得て、2011年（平成23年）1月社会実験としてのバス運行、2012年（平成24年）10月からの本格運行へこぎつけました。

道路の供用開始から10年余経ちましたが、記憶に残る感慨深い道路であります。



▲ 福岡外環状道路  
(右後方は長尾病院)

## 長尾病院外来担当一覧表

2019年3月1日現在

		月	火	水	木	金	土	
一般内科		午前	石田・山内	江崎・山内・古森	福井・久留島	松浦・山内	久留島・山内	交代制
糖尿病内科		午前	淺野・山内	山内	淺野	山内	山内	園木
午後	山内		山内			山内	山内	
腎臓内科 (生活習慣病等)	午前	服部	吉光(予約)	服部	服部(予約)	服部		
午後								
内分泌内科 (甲状腺等)	午前	淺野・山内	山内	淺野	山内	山内	池之上	
午後	山内		山内		山内	山内		
リウマチ科	午前	服部・淺山(予約)		服部・淺山(予約)	服部(予約)・淺山(予約)	服部		
午後								
内視鏡内科	午前			橋本	本多			
午後				笠・橋本	本多			
循環器内科	午前	石田		有村				
午後				有村	石田			
脳内科 (脳卒中等)	午前	服部	古森	服部・久留島	薛	服部・久留島		
午後	古森							
脳神経内科 (パーキンソン病等)	午前				井上			
午後								
脳神経内科 (頭痛・めまい・ふるえ・物忘れ等)	午前			福井		小西		
午後	福井							
リハビリテーション科 整形外科	午前	淺山(予約)		淺山(予約)	淺山(予約)			
午後								
リハビリテーション科 (高次機能障害等)	午前				服部(予約)			
午後			田川(予約)					
リハビリテーション科 (えんげ障害等)	午前				薛			
午後								
痙縮外来	午前			淺山(予約)		服部(予約)		
午後								
もの忘れ外来	午前					濱田(予約)		
午後								
フットケア外来	午前	適時ご希望により対応をさせていただきます。						
午後								

## 診療科目

- ◆内科 脳神経内科・神経内科・脳内科・循環器内科  
血管内科・糖尿病内科・内分泌内科  
腎臓内科・人工透析内科・胃腸内科  
消化器内科・内視鏡内科・老年内科  
◆リハビリテーション科 ◆整形外科 ◆リウマチ科

## 診療時間

午前 9:00 ~ 12:00 (受付 11:30まで)  
午後 13:00 ~ 17:00 (受付 16:30まで)  
(土曜日/午前中のみ)

## 休診日

日曜・祝祭日・土曜日午後・盆休み(8月14日、15日)・年末年始(12月30日~1月3日)



## ● 基本理念 「一人ひとりのライフステージに応じた 最良の医療・福祉を提供する」

## ■発行/医療法人順和



長尾病院

老健センターながお

ながお在宅ケアセンター

所在地/〒814-0153 福岡市城南区樋井川3-47-1

電話/092-541-2035 FAX/092-541-2045

ホームページ/ <http://www.nagao.or.jp>

長尾病院

検索

◎誌面へのご意見・ご要望は長尾よかだより編集委員会までお寄せください。